

# 東京都農業会議情報

第305号  
平成20年7月

編集及び発行  
東京都農業会議  
渋谷区代々木2-10-12  
TEL (03) 3370-7145

## 新会長に石川清氏（青梅市）を選任

### 平成20年度事業計画・予算など決定

#### 第38回東京都農業経営者クラブ通常総会

東京都農業経営者クラブの「第38回通常総会」が武蔵野市にて開かれ、会員ら約90人が出席しました。

総会で決定された今年度の事業計画では、従来のセミナーや視察に加え、消費者を対象に東京農業の役割や魅力を伝える見学ツアーを実施することが盛り込まれました。

海外視察研修については、今年のタイに引き続き、今年



挨拶をする石川清新会長

はベトナム農業の視察を11月に予定しています。

こうした一連の企画については、都農業会議との連携により「東京アグリマネジメントスクール」として認定農業者にも案内することとしている

## 農地管理の徹底と流動化の促進を！

### 8～10月は農地管理・流動化月間です

農業委員会の活動の重点である農地の保全管理の徹底に向け「農地管理推進月間」と農地の利用を促進する「農地流動化推進月間」を本年度も都内全域で設定し、運動を進めます。

月間は、8月～10月のうち1ヶ月間を設定し、パンフレットを配布するなど農地管理の徹底に向け農地を

まします。役員の新選任については新たな理事や監事が決定しました。



総会では20年度の新たな取り組みなどを決定した

先だつて行われた理事の互選を受け、総会に

また、伊藤仁太郎会長の辞任

ます。役員の新選任については新たな理事や監事が決定しました。

また、伊藤仁太郎会長の辞任を受け、総会に

「東京都農作物生産状況調査」ご協力をお願いします。本年度より、都内全域で「東京都農作物生産状況調査」を実施します。区市町村ごとの作付面積や生産量の調査は、これまで農水省が実施してきましたが、19年度産より調査をやめることにしました。これにより生産量などの把握がでなくなり、流通

により、青梅市の石川清氏が新会長に就任することが総会の場で報告され、賛同を受けました。総会終了後には、全体研究

集会が開かれ、大妻女子大学社会情報学部教授の田代洋一氏を講師に迎え「日本農政の課題と都市農業」をテーマに講演が行われました。

## 返還40周年記念式典を盛大に催す

小笠原村

小笠原村は、7月4日に「返還40周年記念式典」を開き、石原慎太郎都知事や平井たくや国交省副大臣、波多野重雄会長などが来賓として出席しました。

同村は、昭和43年6月23日に米国から返還され、現在にいたるまで26時間かかる船便が本土とを結ぶ唯一の交通手段となっており、航空路の早期開設などが望まれています。

## 小笠原諸島返還40周年



挨拶をする石原慎太郎都知事

トピックに「食の信頼」「原油高騰などの影響」など  
「環境対策と農村資源」「食料自給率向上」など分析・提案

平成19年度食料・農業・農村白書

政府は、5月16日に平成19年度食料・農業・農村の動向（農業白書）を公表しました。

本白書では、将来にわたり食料を安定供給できる農業構造を構築する体制強化の必要性について述べており、国民的な関心と理解がさらに深まることをねらいとしています。構成は、4つのトピックと2つの章から成っています。

①食に対する消費者の信頼を揺るがす事件の頻発  
食品による薬物中毒事件が発生し、消費者の間に食品の安全性に関する不安が高まっている。

再発防止のため①情報集約の強化、②緊急時の速報体制の強化、③輸入加工食品の安全確保の強化といった政策を政府一体で、速やかに実施することが決定された。

②原油価格や穀物・大豆価格の高騰とその影響

発展途上国の人口増加と所得の向上により、とうもろこ

しなどの飼料となる穀物や油糧原料となる大豆などの需要が増加している。また、原油

価格の高騰と国際的な環境への関心でバイオ燃料の生産が拡大することに伴い、原料の需要が世界的に増加しており食料需要とエネルギー原料需要との競合が問題となっている。

③新潟中越沖地震による被害の発生

平成19年度は、新潟県中越沖地震や台風の上陸、大雨などの気象災害により、農林水産関係では、1925億円の被害が発生した。

④4千億円を大きく超えた農林水産物・食品の輸出

優れた品質をもつ我が国の農林水産物・食品は、海外からも高い評価を受けており輸出額は4千億円を超えた。

第1章「特集―農業・農村の持続的な発展と循環型社会の形成―」

◇農業の体質強化と地域活性化  
耕作面積の減少や耕作放棄地の増加、農業従事者の減

少・高齢化が進行し、農業構造のせい弱体化が進んでおり、国内農業の体質強化や農村地域の活性化を図ることが必要となっている。

◇地球環境対策と農村資源の保全・活用

地球温暖化による食料生産への影響を踏まえ、地球環境対策を明らかにするとともに、農村資源の保全・活用に向けた課題を整理する。

第2章「食料・農業・農村の主な動向」

◇食料自給率の向上と食料の安定供給  
世界の食料事情の変化を踏まえ「食料自給率の向上と食料の安定供給」および「消費者の信頼確保」の重要性を明らかにする。

◇農業の体質強化と高付加価値化

農業労働力の現状、農林水産物・食品の輸出促進や、知的財産の創造・保護・活用に関する研究開発などの取り組みの重要性を明らかにする。

◇共生・対流の促進を通じた農村地域の活性化

農村活性化に向けて、農商工連携など異業種との連携強化の重要性を明らかにする。

常任会議員会議だより

第3回常任会議員会議

平成20年6月17日に開催した状況は次のとおり。

説明

「農業・農地を活かしたまちづくりガイドライン」を

都農業基盤整備担当・内田

課長が説明をした。

議事

①農地法第4条・5条の

規定に基づく知事諮問は、

第4条3件1058㎡、第

5条4件2207㎡を審議

し、許可相当と答申する旨

を決定した。②平成20年度

東京都農業会議職員給与の

改定について決定した。

協議

①「農地管理推進月間・

農地流動化推進月間」を今

年度も統一的な運動として

取り組むこととした。

②東京都農作物生産状況

調査の実施について説明し、

農業委員会と連携して進め

ることとした。

③平成20年度ふるさと

東京むらづくり塾活動計画

を説明し、構成員会議に提

出することとした。

当面の農政問題は、①食

料の安定供給の確保に向けた農地政策の見直し方向について全国組織とも連携を

はかりながら対応することとした。

②地方分権推進委員会第

1次勧告を説明し、農地転

用許可権限に関する国の関

与の必要性と農業委員会必

置規制の堅持の要請書を決

定し、今後とも動向を注視す

ることとした。

第4回常任会議員会議

平成20年7月17日に開

催した状況は次のとおり。

議事

農地法の規定に基づく知

事諮問は、第5条7件44

61・29㎡を審議し、許

可相当と答申する旨を決定

した。（第4条はなし）

協議

①第103回通常総会開

催計画・提出議案、②東京

都農業政策に関する建議案

を説明し、総会に提出する

こととした。

当面の農政問題は、中小

企業における経営の継承の

円滑化に関する法律につい

### 新たな農地政策の確立に対する提案 農業委員会の必置規制堅持緊急要請など決定

全国農業委員長大会

全国農業会議所は、5月30日に日比谷公会堂において全国農委会長大会およびWTO対策特別集会を開き、全国から約2千人が参加しました。都農業会議の波多野重雄会長が運営委員長を務め、都内からは農業委員長ら30人が出席しました。

大会ではWTO農業交渉などに関する特別要請をはじめ、食料安全保障や新たな農地政策の確立に対する提案などを決議しました。

また、地方分権改革推進委員会がまとめた第1次勧告に対し、引き続き国が転用許可権限を持つことと農委会の必



大会運営報告をする波多野会長

置規制堅持を求める緊急要請を決議しました。

大会終了後には波多野会長が澤雄二農林水産大臣政務官に面会し要請したほか、都内の農業委員長が東京選出国會議員と面会し、大会決議と東京農業の確立について実現を要請しました。

### 農業委員会が窓口となり 中学生の職場体験受け入れに積極的に取り組む

農業委員会の農業と教育との架け橋・実践活動のひとつとして、中学生の職場体験に積極的に取り組み、昨年度の受入事例は表1のとおりで、いずれも前年度より増加しています。

5月21日には、平成20年度都職場体験推進協議会にて、清瀬市農委会における受入れについて事例報告がされ、市内のある中学校の2年生全員が35戸の農家で数名ずつ、野菜の収穫、選別、出荷などを体験した報告が高く評価されました。

### 千葉県柏市の農業委員会活動など研究

農業委員会職員現地研究会開く

都農業会議は、7月1日に千葉県柏市にて、農委会職員現地研究会を開きました。

研究会では、まず柏市役所会議室にて、農委会の秋山事務局長より柏市の農業の概要について、続いて、木村会長をはじめ2名の農業委員より農委会の活動などについて報

告がされました。

また、同市農政課の土山課長からは、あけぼの山農業公園の概要、ブランド化と直売の取り組みなどについて説明がされ、活発な質疑応答や意見交換がされました。

現地研究は、今採り農産物直売所「かしわで」を研究しました。

農業委員でもある染谷茂代表取締役より直売所の運営や取り組みについて説明を受けた後、見学をしました。「かしわで」は、外国製品

### 「農業委員会だより」発行に向け研究

広報研究会開く

都農業会議は「地域農業の魅力を発信しよう」をテーマに、農業委員会だよりなどの発行に携わる農業委員や職員を対象に広報研究会を開きました。

研究会では、まず地域開発プランナーで雑誌の編集者である永田麻美氏による講演が行われ、永田氏からは、広報誌づくりの企画から取材、執筆までのノウハウについて経



柏市の農業委員会活動などについて報告する木村柏市農業委員会

を一切取り扱わないことをポリシーに商品を取り扱い、店内にはその方針などが掲げられています。また、それぞれの農産物には、搬入した時間などを表示するなど、陳列方法に工夫がされています。

事例発表では、日の出町農委会の高岡剛氏より、同町の農業委員会広報誌「ひので大地」の紙面づくりや記事の収集の仕方などについて報告がされました。

また、全国農業会議所の池田辰雄新聞事業本部長が全国農業新聞の紙面と普及推進について説明をしました。

### 都内各地で地域住民との活動に積極的に取り組む

#### 農ウオーク・田植え体験・料理教室など多彩な活動

地域住民や子供たちに地元農業の魅力に触れてもらおうと、都内各地で多彩なイベントが開かれています。

府中市では市内の小学生と農業委員、市議会議員らによる田植え体験を実施しました。

市立住吉小学校の5年生の生徒が体操着を泥だらけにしなが田植え体験を楽しんだほか、農業委員と市議会議員の混合チームも一緒に田植えに挑戦しました。

国分寺市では地元の農家を見学しながら巡り歩く「農ウオーク」を開き、市民ら56人が参加しました。今回は、西町地区で8戸の農業経営を見学しました。



国分寺市では「農ウオーク」に市民56人が参加した

終了後にはゴール地点の西町プラザで主催者と参加者による懇談会が開かれました。

小金井市では市内でとれる農産物の魅力を知ってもらおうと、地元野菜を使った料理教室を開きました。

地元JAの女性部員が講師を務め、約30人の市民らがルバーブジャムや夏野菜のドライカレー作りに挑戦しました。

三鷹市では都市農業を育てる市民のつどいを開きました。



府中市では田植えに挑戦した

市内在住の児童とその保護者らが市内の農家を巡ってトマトやキュウリなどの夏野菜やブルーベリーの収穫を楽しみました。

### 全国農業新聞の購読普及を！

全国農業新聞は、農業委員会系統組織の情報紙として、昭和27年に創刊以来、週刊紙の利点をいかし、農政の動きをはじめ技術・税制の解説などの確で役立つ情報を提供してきました。

農業委員各位におかれましては、「農地管理推進月間」などの機会に、地域農業の相談役としての情報提供に向けた「農業委員会だより」などの発行とあわせ、特に相続税納税猶予制度適用者や認定農業者などに農業委員1人1部以上の購読をお勧めいただくようお願いいたします。(月4回発行・年7200円)

### 新農業人フェア08開く

新・農業人フェア08が、6月14日に池袋サンシャインで開かれました。

全国から農業生産法人など100を超えるブースが集まり会場は熱気に包まれました。

当日は「農業を仕事にした」「農業の技術を学びたい」「農業に興味がある」といった多くの来場者が訪れました。

「東京ブース」では、「東京の農業」に興味を持つ家族連れや若者が訪れ、様々な情報を収集していました。

このような活動を通じ、今年度、すでに研修生が都内の農業経営に入り、技術を学んでいます。

### 法人化や輸入検疫

#### など現地研究

北多摩農委会連合会(榛澤会長 三鷹市)は、7月上旬に千葉県にて行政視察を実施しました。

初日は、匝瑳市の「ふれあいパーク八日市場」で、沿革と現状について説明を受けました。様々な課題を法人化や「一人ひとりのブランドを持

とう」という意欲で克服してきたという経過に参加者は、感銘を受けました。

2日目は、成田空港の農産物の検疫現場の実態や状況を研究しました。

### 8月～9月の日程

8・12(火) 地区協正副会議  
8・18(月) 第103回通常総会／互選会／第5回常任会議

8・22(金) 農委会活動研  
8・28(木) 農地担当者会議  
8・29(金) 認定農業者等担い手支援協議会／主任職員協議会／全体研究集会(都職研)

9・1(月) 会長職務代理研  
9・17(水) 第6回常任会議  
◆新任農業委員研修会

8・27(水) 新宿会場  
9・5(金) 立川会場  
◆農業委員研修会

9・8(月) 北多摩地区(府中市)  
9・24(水) 南多摩地区(町田市)

9・26(金) 区内地区(江戸川区)  
10・2(木) 西多摩地区(あきる野市)